

「とよなか散策」 スポット紹介 その⑬住吉神社(豊南町西)

豊中市南部の豊南町にある静かな神社です。この地は大昔には広々とした入海でしたが次々と小島が現れ次第に土地が開かれました。当神社はそのころ創建されたようです。江戸時代、旧長島村と三屋村の鎮守となった当神社は、山王権現と海上安全の神である住吉三神を祀っています。元禄年間(1688~1704)の寺社調査書によると、創建年代は不明とありますが、境内地は39間×42間(約1600坪)に及んでいたとのこと。境内には小庵がありましたが、いつか庵は全焼し、当社に関わる記録類等も失ったと言われます。境内の自然石型の手水鉢には「元禄七甲戌歳□□□ 九月十七日願主西村口」と記されています。



理事を募集しています

NPO法人とよなか・歴史と文化の会の運営は6人の理事を中心に行っていますが、4名が75歳以上と高齢化が進んでいます。活動を継続していくためには、世代交代として新しい理事が必要です。「やってみよう」という方の参加募っています。お気軽にお問い合わせください。

スタッフを募集しています

・エクセルを使って会計帳簿の作成が出来る方
・ホームページの維持管理と更新ができる方
以上のスタッフも募集しています。応援していただけるとありがたいです。

市の景観啓発事業に協力

昨年は、第12中学校の美術部の皆さんのまち歩きに協力しました。5月14日(火)~17日(金)まで、第2市庁舎ロビーで、その時に描かれた絵で「景観スケッチ原画展」が開催されました。今年度は、第3中学生の美術部の皆さんが絵を描いてくれることになり、5月30日(木)に校区内のいくつかのスポットを案内することになっています。



原田しろあと館の一般公開は、土曜・日曜の12:00~16:00(入館は15:30まで)となっています

＝後記＝
図書館の子ども本のコーナーが結構面白いです。絵本だけでなく大人の配架と同じように、いろいろなジャンルの本があります。例えば日本の歴史についての大人向けの本は、専門家が自分の説を展開し、文章も硬いものが多いようです。一方、子ども向けの本は、分ってもらうことを重点に、文字の情報だけでなく、写真やイラストも豊富なものが多いようで、具体的に知識を得ることができます。子ども本のコーナーはおすすめてです。(Y)

新緑の原田しろあと館へ

原田しろあと館では、今、新緑の季節を迎えています。

太陽の光を浴びながらそよ風に揺れる木々の緑は、心が洗われるようで、本当にすがすがしいものです。梅雨に入るまでの天気の良い日に、原田しろあと館にお越しになりませんか。



市民交流の場 原田しろあと館

たより

発行: 特定非営利活動法人とよなか・歴史と文化の会
〒561-0801 大阪府豊中市曾根西町4-4-15
TEL & FAX: 06-6841-3725(土・日 12時~16時)
Eメール: toyonaka-hc@song.ocn.ne.jp
URL: https://harada-shiroato.org

Vol.71



皆さんをお迎えする鮮やかな新緑

【6月7月の催し物】

6月	
1日(土)	クラシックCD鑑賞
2日(日)	むかし遊び・紙芝居
8日(土)	自由見学
9日(日)	おもちゃづくり
15日(土)	囲碁・将棋
16日(日)	ミニコンサート
22日(土)	ジャズレコード鑑賞
23日(日)	自由見学
29日(土)	オールディーズCD
30日(日)	伝統芸能

6月16日(日) 情熱のアルパとギター ~新緑サロンコンサート~



前回の演奏風景

この時期、しろあと館は目にも鮮やかな新緑に包まれています。季節ごとに木々や花々が訪れる人を楽しませてくれていますが、今が一年のなかでも一番気持ちの良い季節ですね。そんななか恒例の「アルパとギターのコンサート」の開催です。中庭の緑をバックに演奏される心地良い音楽は、ひと時安らぎの時間を与えてくれます。目で耳で楽しめるしろあと館ならではのコンサートです。どうぞお越しください。

演奏予定曲: サウンドオブミュージック、銀河鉄道999 他
出演: 増永雅子、福永幸子、佐野麻子(アルパ) 山田恵範、田村恵子(ギター)

6月30日(日) ~朗読劇から講談へ~ 講談の魅力がほとばしる「ヘタレの桃太郎の鬼退治」

誰もが知っている民話桃太郎のお話。ところが実は桃太郎は…。違った観点、発想から大胆に桃太郎の話を朗読劇の本としてムラオハツコさんが創作。それをしろあと館ではお馴染みの講談師 旭堂南斗さんが講談に仕上げた上演です。さあどんな高座になりますでしょうか? 前半はムラオハツコさんと旭堂南斗さん 旭堂南斗さん 今回の講談の原作本とのミニ対談「えっ?!ヘタレの桃太郎も鬼だった?!」と講談「ヘタレの桃太郎の鬼退治」。後半は講談「秀吉の初陣」をたっぷりお聞き頂きます。お楽しみに。



出演: 旭堂南斗さん(講談)、ムラオハツコさん(原作者)

催しの詳細は内面へ

7月21日(日) スティールパンで奏でる日本の夏



前回のライブ風景

夏もいよいよ本番を迎える7月後半。この季節の定番ライブと言えば、カリブで生まれたスティールパンの音色ですね。爽やかなあの音色はどんな暑さも吹き飛ばしてくれます。今回は日本の夏がテーマと言うことです。いまから楽しみなライブになりそうです。

演奏予定曲: 南の島のハメハメハ大王、浜辺の歌、渚のシンドバッド 他
出演: 釣千賀子さん(スティールパン)、上川保さん(ギター)、岩田晶さん(ベース)

7月28日(日) ~落語と邦楽~

奇数月の第四日曜日は定例「しろあと寄席」です。前半は和奏伎の皆さんによる邦楽の数々。和奏伎の皆さん 桂枝女太さん 踊りや三味線合奏等、日頃あまり接する機会がない邦楽の数々を楽しんで頂きます。



後半は桂枝女太さんの一席です。毎回ネタを替えての高座はさすが芸歴40年以上の実力です。

出演: 桂枝女太さん、和奏伎さん



原田しろあと館は、NPO法人とよなか・歴史と文化の会が、豊中市教育委員会からの委託を受けて管理・運営をしている市民交流のスペースです。多世代を対象に、さまざまな催しが行われています。また、四季折々の風情を楽しむこともできます。一度、遊びに来てください。